

研究課題名	肝線維化に対する非侵襲的評価の検討
研究責任者名	広島大学病院 検査部 准教授 茂久田 翔
研究期間	年 月 日(倫理委員会承認後) ~ 2026年 05月 01日
対象者	2019年9月から2022年12月までの間に広島大学病院消化器代謝内科で肝硬度測定を行った患者さん
意義・目的	<p>肝臓の硬さの評価は肝生検というお腹に針を刺して検査するものが最も正確であるといわれています。しかし検査には痛みがあり、入院する必要があるため非常に大変な検査です。</p> <p>そのため近年では超音波を使用した肝臓の硬さの評価が注目されています。しかし、発展途上の分野であるため基準値設定などの研究が必要です。臨床の場において患者さんへの負担を少なく検査をするために大切な研究となっています。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は性別、年齢、血液検査（AST値、ALT値、血小板数など）超音波検査（肝臓や皮下組織のBモード、Fibroscan、SWE、SWM、CAP、ATIなど）、病理診断結果（診断名、F因子など）です。</p> <p>取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p>
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	所属 広島大学病院検査部 准教授 茂久田 翔
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5547

広島大学病院 診療支援部 生体検査部門 部門長 荒瀬 隆司